



株主の皆様へ

第65期 報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

暮らし・心・環境に。プラスイノベーション。

+++ INNOVATION

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

証券コード 7887

[経営理念]

私たち南海プライウッドは、
独自の発想と経営で革新にチャレンジし、
お客様の求める真の価値を創造し、
ステークホルダーおよび社会との
調和ある安定成長を実現します。

[コーポレートステートメント]

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。
安心・安全・快適。品質第一のものづくりを推進し、
自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、
住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、
法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために
社会に対し3つの誓約を実践します。

行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。
ステークホルダーの安心の暮らしを守るために
CSR/コンプライアンスを経営の中枢においた
態勢を構築します。

2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。
大切なお客様の笑顔を守り、
信頼を築く態勢を構築します。

3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。
自然・社会・人の環境持続を優先した
態勢を構築します。

ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第65期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が続くなど国内景気は緩やかな回復が持続する一方で、国際的に深刻化する貿易摩擦への不安や、米国株式市場の下落に端を発した円高の進行などが企業の景況感を悪化させるなど、先行きの不透明感は払拭されないうまま推移してきました。

当業界におきましては、低水準の住宅ローン金利や政府による継続的な住宅取得支援策などの影響により、一部持ち直しの兆しも見られましたが、マンションや貸家を中心とした減少により、新設住宅着工戸数は弱含みで推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、木材関連事業においては、南海プライウッド創業75周年を迎えたことを記念して、需要が多く見込まれる東京神田にショールームをオープンいたしました。玄関スペースをはじめ、リビング・水まわりからプライベートルームまで、生活動線を快適にする家中の収納プランやインテリア性を高めた収納製品の展示、機能やサイズなど身近に実感できる体験コーナーを常設しております。東京ショールームには、当初想定しておりましたよりも多くのお客様がご来訪くださり、大きな反響をいただきました。これを受けて南海商品に触れていただく機会をこれまでに増してご提供させていただくために、お施主様向けのイベント等、様々な企画を提案してまいりました。

電線関連事業では、引き続き四国エリアを中心とした販売展開を行いました。地方における施設物件の新設が低迷しており、競合他社との厳しい価格競争が継続しております。そのようななか、引き続きリニューアル物件やスマート商材市場の販路開拓に注力しつつ、価格の適正化によるシェアの拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高17,970百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益1,137百万円(前年同期比69.3%増)、経常利益1,440百万円(前年同期比88.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益703百万円(前年同期比57.6%増)となりました。

当社グループといたしましては、今後も皆様のご期待に応えるべく、経営を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応し、グループの目標達成に向けて全社員一丸となって取り組んでまいります所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月

+++ INNOVATION NEWS



弊社展示会ブースの様子



2018 SPRING EXHIBITION

お客様主催の大型展示会に出展。「収納生活」を全面にPRしました。

2月・3月に、東京で開催された建材フェアに出展。

プロモーションの一貫として「収納生活」を全面に打ち出し「収納のNANKAI」を強くアピール。

お客様の関心も高く、「トータル収納メーカー」として位置付けを印象づけることができました。

+++ INNOVATION NEWS



東京ショールームの内観

TOKYO SHOWROOM

**「収納のNANKAI」をプロモーション。
関東圏の業界関係者はもとより、
一般のお施主様にも大好評です。**

関東一円のターゲットを対象に、シェア拡大と「収納生活」を基軸とした「収納のNANKAI」確立を目的としてオープンした東京ショールーム。

昨年8月のオープン以来、業界関係者はもとより、ネットを通じ、お施主様のご来場も増加しています。今後は、一般のお客様も見据えた「B to C」のコミュニケーション戦略の展開拡大を図る予定です。



一般ユーザも弊社の収納プランに高い関心を示しています。

BRAND NEW PRODUCT 2018

時代のニーズに対応したニュープロダクト。NANKAIイノベーション。



LACELLE

ランドリーパネル収納 [ラクエル]

ママの家事仕事を応援する収納。
ユーティリティルームに最適な
ラクエルを市場投入予定。

「こんな収納があったらいいな」の声を
カタチにして生まれました。

市場ニーズを反映
した、忙しいママの
家事動線を効率化
して作業を軽減する
便利なデイリーユース
収納です。



MAGAZINE RACK

壁厚ニッチ収納 [マガジンラック]



壁の厚みを使って、
お気に入りの本やレシピ集を
おしゃれにディスプレイ収納。

「サニタ」「ミロート」をはじめとする人気の
壁厚ニッチシリーズの新製品です。

ちょっとした隙間空間を活用して収納
スペースを確保。あると便利な手元
収納プランとして暮らしに役立ちます。

連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
■資産の部		
流動資産	12,375	12,361
現金及び預金	2,653	2,063
受取手形及び売掛金	3,719	3,156
電子記録債権	1,633	2,718
商品及び製品	897	828
仕掛品	871	717
原材料及び貯蔵品	1,947	2,191
繰延税金資産	162	194
その他	494	491
貸倒引当金	△3	△1
固定資産	9,342	9,189
有形固定資産	7,014	6,871
建物及び構築物	1,376	1,318
機械装置及び運搬具	1,419	1,432
工具器具備品	37	35
土地	4,032	4,025
建設仮勘定	114	32
その他	33	27
無形固定資産	81	75
投資その他の資産	2,246	2,242
投資有価証券	691	711
長期貸付金	129	145
繰延税金資産	16	33
投資不動産	994	925
退職給付に係る資産	4	—
その他	415	430
貸倒引当金	△5	△4
資産合計	21,717	21,551

	前連結会計年度末 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
■負債の部		
流動負債	3,778	3,132
支払手形及び買掛金	869	964
短期借入金	1,367	595
未払金	384	435
未払費用	132	167
未払法人税等	263	451
未払消費税等	200	111
賞与引当金	235	281
デリバティブ債務	232	—
その他	92	124
固定負債	675	558
長期借入金	398	208
繰延税金負債	57	59
役員退職慰労引当金	9	9
退職給付に係る負債	177	250
その他	31	30
負債合計	4,454	3,691
■純資産の部		
株主資本	16,962	17,587
資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	13,110	13,736
自己株式	△135	△136
その他の包括利益累計額	301	272
その他有価証券評価差額金	96	109
為替換算調整勘定	211	206
退職給付に係る調整累計額	△7	△43
純資産合計	17,263	17,860
負債純資産合計	21,717	21,551

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	当連結会計年度 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
売上高	16,852	17,970
売上原価	11,799	12,316
売上総利益	5,052	5,654
販売費及び一般管理費	4,371	4,516
営業利益	680	1,137
営業外収益	592	463
営業外費用	508	161
経常利益	764	1,440
特別利益	24	95
特別損失	27	181
税金等調整前当期純利益	761	1,354
法人税等	314	651
当期純利益	446	703
親会社株式に帰属する当期純利益	446	703

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

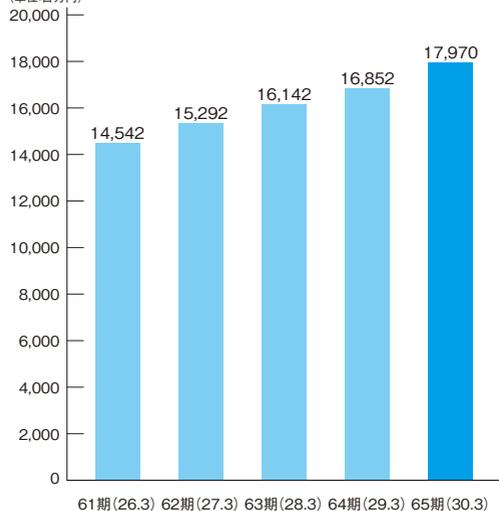
	前連結会計年度 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	当連結会計年度 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,082	860
投資活動によるキャッシュ・フロー	△983	228
財務活動によるキャッシュ・フロー	289	△1,129
現金及び現金同等物に係る換算差額	△239	△44
現金及び現金同等物の増減額	149	△84
現金及び現金同等物の期首残高	1,998	2,148
現金及び現金同等物の期末残高	2,148	2,063

■ 損益ポイント

売上高と経常利益は過去最高を更新しました。

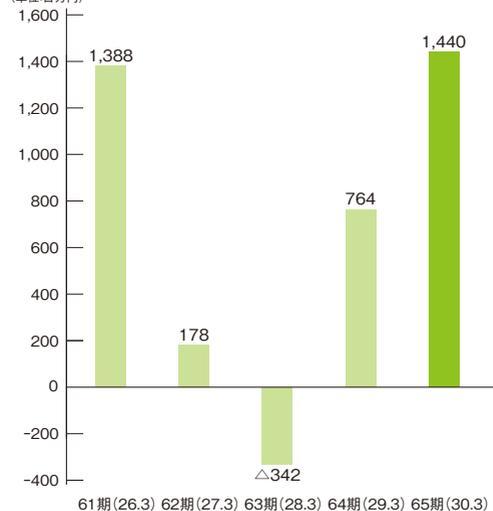
▽ 売上高の推移

(単位:百万円)



▽ 経常利益の推移

(単位:百万円)



当期の概況

(木材関連事業)

当セグメントでは、国内市場では、収納材を中心にお客様のニーズを第一に製品の生産・販売活動に注力したことで売上高、セグメント利益ともに増加いたしました。海外市場ではフランス子会社の合板製造販売事業において、販売価格の値上げや製造工程の見直しによる赤字幅の縮小を目指しておりますが、依然として経営を取り巻く状況は非常に厳しく、同社の業績の改善は遅延する見通しとなっております。この結果、当セグメントの業績は、売上高16,588百万円(前年同期比6.4%増)、セグメント利益1,120百万円(前年同期比69.3%増)となりました。

(電線関連事業)

当セグメントでは、地方における電材業界に寄与する物件の新設が減少傾向にあることに加え、競争思考型の価格戦略による営業展開やセールスマックスの改善に取り組みましたが、大幅な経営成績の改善には至らないまま推移いたしました。この結果、当セグメントの業績は売上高1,381百万円(前年同期比9.9%増)、セグメント利益16百万円(前年同期比10.5%減)となりました。

次期の見通し

(木材関連事業)

住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数が弱含みで推移しているなか、ショールーム等による様々な角度からの商品のPRを積極的に行うとともに、当社グループ商品の海外市場での展開やリフォーム市場・非住宅市場の販路拡大への取り組みを進め、収益の確保に努めてまいります。この結果、当セグメントの業績は、売上高17,105百万円(前年同期比3.1%増)、セグメント利益1,459百万円(前年同期比30.2%増)になるものと予想しております。(電線関連事業)

電材業界におきましては、地方物件における価格競争の激化に対応していくため、次期から改めて、販売管理及び購買管理の仕組みを一新し、タイムリーで柔軟な対応を目指すことで更なる販売の拡大を目指してまいります。この結果、当セグメントの業績は、売上高1,395百万円(前年同期比0.9%増)、セグメント利益41百万円(前年同期比141.3%増)になるものと予想しております。

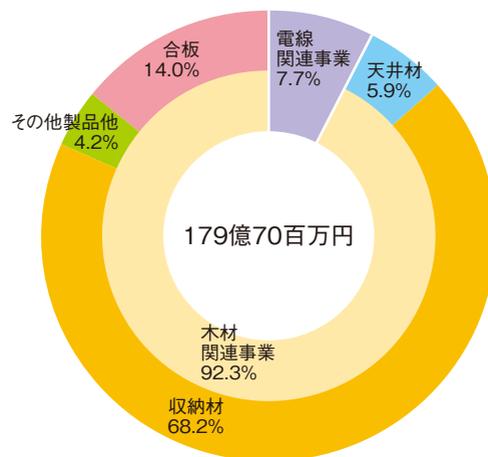
次期は、連結売上高18,500百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益1,500百万円(前年同期比31.8%増)、経常利益1,500百万円(前年同期比4.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益950百万円(前年同期比35.1%増)になるものと予想しております。

▼新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移



注) 売上高は、単体の売上高であります。

▼セグメント別の連結売上高構成(連結)



株式の状況

(平成30年3月31日現在)

総数

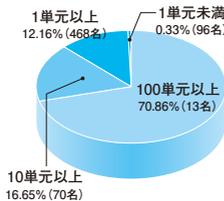
発行可能株式総数	2,000,000株
発行済株式の総数	1,009,580株
株主数	647名(前年度末比97名減)

大株主

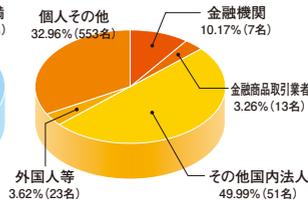
株主名	持株数	持株比率
南海興産株式会社	275,309株	28.46%
公益財団法人南海育英会	155,450	16.07
丸山 修	49,231	5.08
株式会社百十四銀行	46,779	4.83
小林 茂	30,215	3.12
株式会社愛媛銀行	24,310	2.51
四国興業株式会社	23,276	2.40
日本ラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	20,100	2.07
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	15,400	1.59
南海プライウッド従業員持株会	12,145	1.25

(注)当社は自己株式42,311株を所有しております。なお、持株比率は当該自己株式を発行済株式の総数から控除して算出しております。

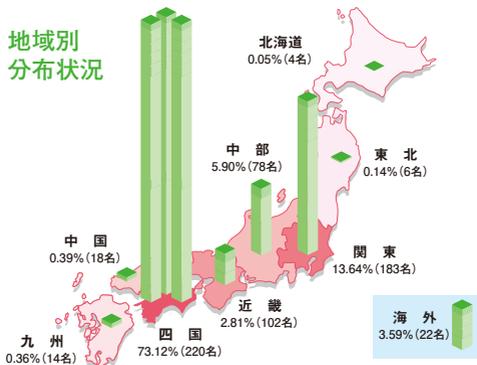
所有株数別分布状況



所有者別分布状況



地域別分布状況



会社概要

(平成30年3月31日現在)

商号 南海プライウッド株式会社
 本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号
 電話 087(825)3615 (人事総務グループ)

インターネットホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日
 資本金 21億21百万円
 従業員数 385名(連結1,420名)
 事業内容 建築内装材の製造・販売
 事業所 志度工場
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地
 物流センター
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1
 朝日新町保税倉庫
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

役員

(平成30年3月31日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	監査役	大川 俊徳
取締役・上席執行役員	丸山 宏	監査役	岩部 達雄
取締役・上席執行役員	藤本 英二	執行役員	小野 彰三
取締役・上席執行役員	大川 正仁	執行役員	蓮井 孝治
取締役・上席執行役員	浮田 貴仁	執行役員	松浦 義博
取締役(社外)	村田 剛	執行役員	渡邊 浩平
常勤監査役	秋山 二郎	執行役員	清水 広志

連結子会社

(平成30年3月31日現在)

木材関連事業 南海港運株式会社
 PT.NANKAI INDONESIA
 NP ROLPIN SAS

電線関連事業 ナンリツ株式会社

持分法適用関連会社

(平成30年3月31日現在)

一般管工事業 南海化工株式会社

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
- 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- 公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部(証券コード 7887)
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 郵便物送付先／各種お問合せ先
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話料無料)

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取り等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座のない株主様につきましては、当社が特別口座を開設し管理していますので、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。